

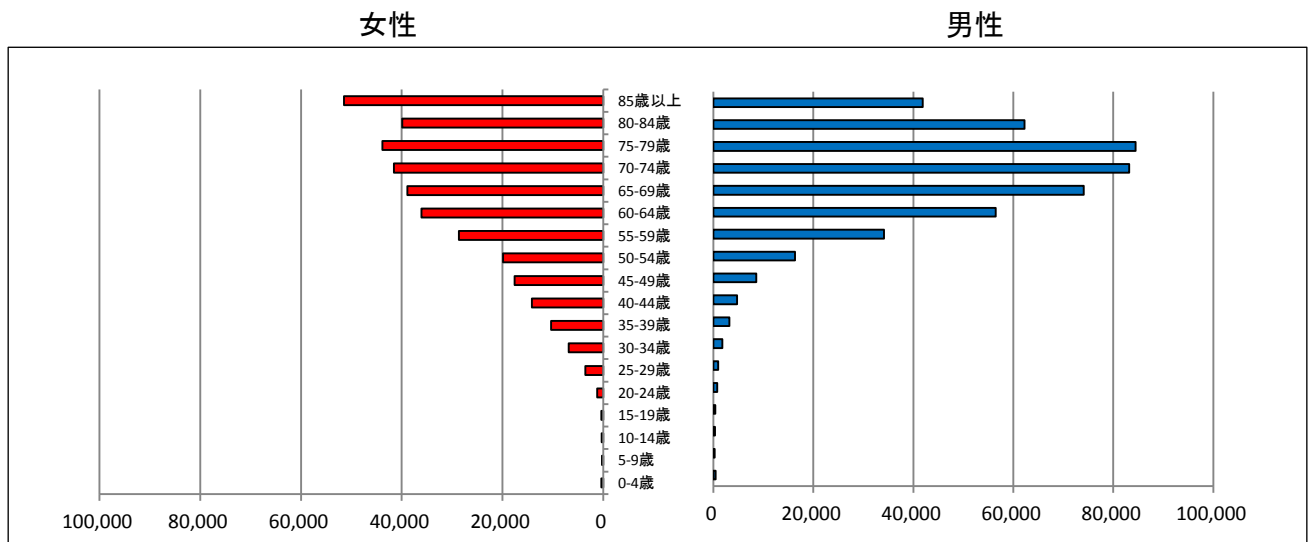
富山県におけるがん患者の現状と将来動向

1. 全体概要（高齢化の進展とがん患者の増加）

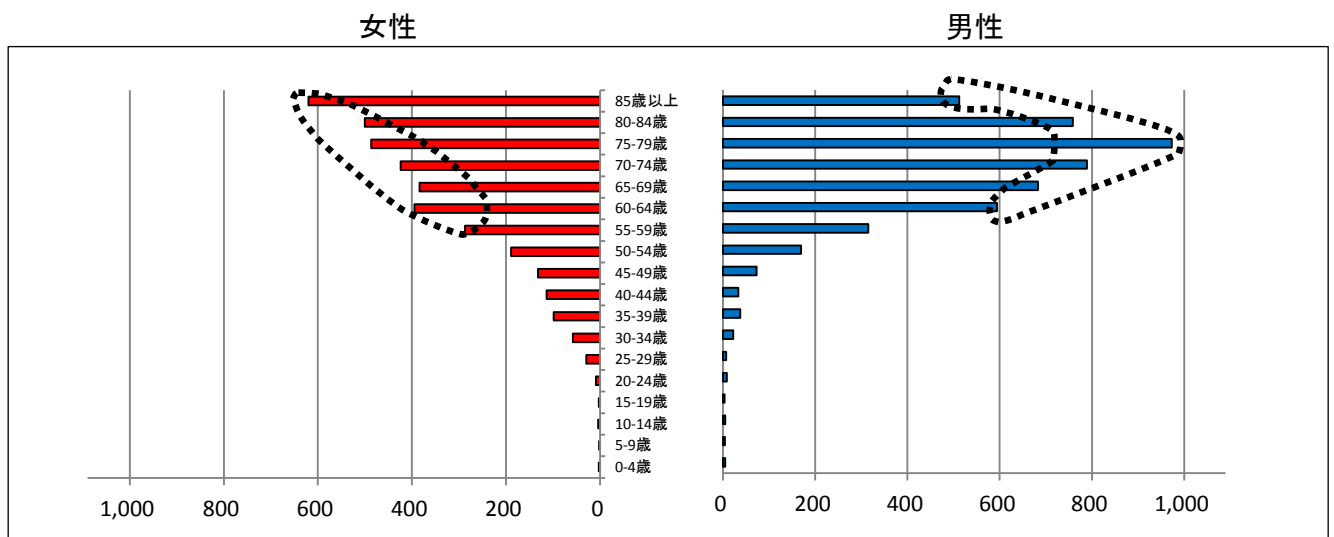
- 本県の人口は 1998 年にピークを越え、減少局面に入って 16 年が経過した。一方、65 歳以上の高齢者人口は一貫して増加し、全国を 6～7 年上回るペースで高齢化が推移しており、平成 25 年 10 月現在で高齢化率は 28.7% に達している。
- これに比例するようにがん患者も増加しており、平成 21 年のがん患者は 8,730 人に達しており、人口 10 万対比のがん患者数は 797.1 と、全国の 650.2 を大幅に上回っている。
- 特に、人口比での 60 歳以上のがん患者分布は特に高いが、高齢者のがん治療に当たっては、多重がんをはじめとする合併症への継続的ケア、体力衰退を踏まえた慎重な施術判断、疼痛をはじめとする身体的又は精神的苦痛に対する緩和ケアの充実など、高齢がん社会に対応した診療体制の整備が必要である。

■全国－富山県 がん罹患患者数の年齢分布

全国のがん患者数（平成 21 年）



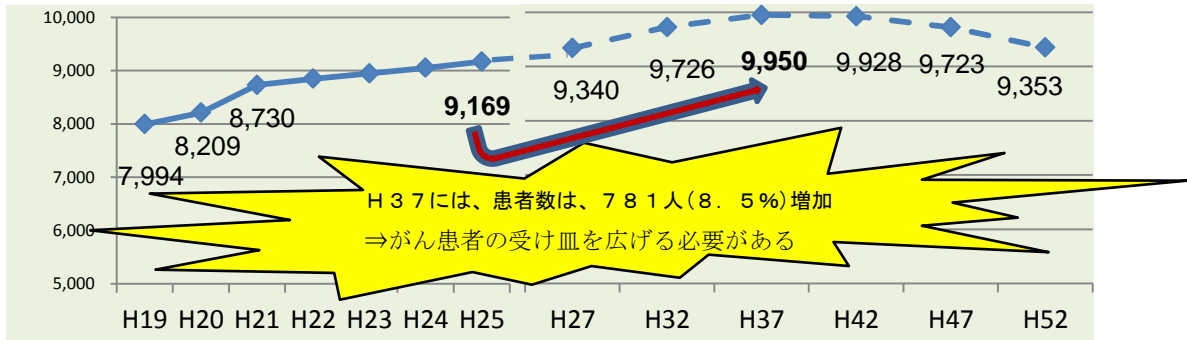
富山県のがん患者数（平成 21 年）



出典：（全国）地域がん登録全国推計によるがん罹患データ、（富山県）富山県がん疫学調査

- 団塊世代が75歳以上になる2025（平成37）年に向け、県内高齢者人口は着実に増加することが見込まれ、これに伴い、がん罹患者数も増加、2025年には現在の約1割増の1万名にほぼ達すると試算することもできる。県民があまねく適切ながん医療を享受できるよう、診療体制の更なる充実が必要。

■本県のがん罹患者推計

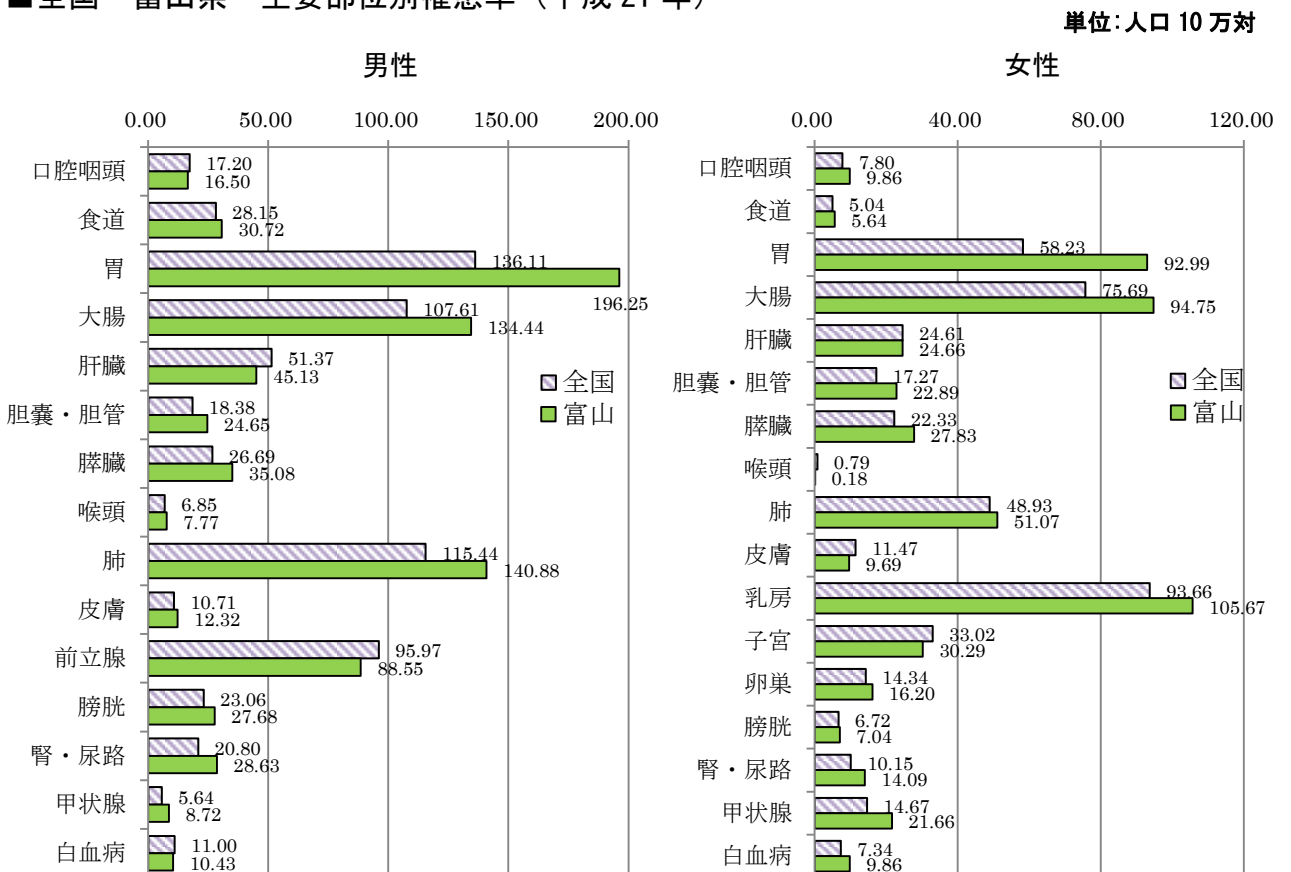


出典：平成21年の男女別・年代別・部位別がん罹患率をベースに、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口に基き推計

2. 主要部位別の状況

- こうした全体的な傾向を受ける形で、本県の主要部位別がん粗罹患率を見ると、罹患率順位の高い胃・肺・大腸・乳房のいずれをとっても全国の罹患率を大きく上回っている。

■全国ー富山県 主要部位別罹患率（平成21年）



出典：(全国) 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ、(富山県) 富山県がん疫学調査

- これら部位別のがん罹患者数について、全体罹患者数と同様の将来試算を行うと、例えば、2025（平成37）年には、胃がんや大腸がんでそれぞれ約15%ずつ増加が見込まれるほか、罹患すると完治が難しい肺がんや膵臓がんなどの難治性がんが2割を超えて大幅に増加することから、全体の「がん罹患者数1割増」という見かけ以上に、がん診療ニーズは質・量の両面で一層の充実が求められる。

■本県の主要部位別・罹患者の現状と将来推計

（単位：人）

	H21年	H37年	増減	増加率
全部位	8,730	9,950	+1,220	+14.0%
胃がん	1,563	1,822	+259	+16.6%
大腸がん	1,259	1,444	+185	+14.7%
肺がん	1,033	1,255	+222	+21.5%
肝臓がん	378	445	+67	+17.7%
乳がん	600	571	△29	△4.8%
子宮がん	172	163	△9	△5.2%
リンパ組織	370	428	+58	+15.7%
膵臓がん	343	425	+82	+23.9%

出典：平成26年3月富山県がん疫学調査、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計に基づき推計